

関ジャニ∞と
香里奈さんが大好き

かつよし さきこ
勝吉 早紀子 さん



お小遣いを貯めて
買いました!

雑誌の切り抜きや
DVDを見たいの
です。



勝吉早紀子さんは、音楽を聴いたりドラマを見たりするのが大好きだそうです。好きなアーティストは、関ジャニ∞、いきものがかり。そしてモデルの香里奈さんと山田優さんも大好きです。毎月貯金をして、好きなドラマのDVDボックスをを買うのがとても楽しみです。仕事は八王子市戸吹町の「sora」に通っています。みんなが描いたイラストをレターセットに仕上げるのがおもしろい仕事。これは「sora」の売れ筋商品なんだそうです。

仕事が終わると、送迎バスでグループホームに帰ります。ここでは、女性3人で共同生活をしています。夕食の支度、お風呂やトイレの掃除は当番制。この日は親子丼、もやしのサラダ、大根とニラのみそ汁をルームメイトの方に手伝ってもらって作りました。

もうすぐ23歳になる勝吉さん。お誕生日には、みんなに回転寿司で祝いをしてもらう予定だとか。楽しみです。



今日は夕食当番 手伝うね。



いただきます!

出会い

「それぞれの世界、それぞれの幸せ」



連載エッセイ vol. 4

小松 由佳(こまつ ゆか) フォトグラファー

1982年秋田県生まれ。2006年日本人女性として初めてK2(8611m/パキスタン)に登頂。同年、植村直己冒険賞、秋田県民栄誉章を受賞。次第に、自然とともに生きる人々の姿に惹かれるようになり、そんな暮らしを写真と文章で表現することに取り組む。現在は写真家活動をしながら知的に障害がある人たちのケアホームで非常勤として働く。

中学生の頃、何気なく見ていたNHKのドキュメンタリー番組で忘れられない一人の老人との出会いがありました。老人はインド北部のラダック地方に生きる農夫で、谷のわずかな土地に麦を植え、山に羊を放牧して暮らしていました。街から離れた村の生活は厳しく、電気も水道もなく、冬が来れば村は深い雪に覆われます。冬の寒い日、オオカミから羊を守るために石造りの小屋の中で男たちが交代で寝泊まりをし、家畜を守るのだと聞きました。その番組のディレクターは老人に尋ねました。「下の街に下りれば、文明的な生活があります。なぜこの村にとどまり厳しい生活を続けるのですか?」すると老人は答えました。「ここには山があって動物がいて、人間が生きています。それが私の世界であり幸せそのものなのです」その目がとても生き生きとして、私は言いようの無い安らぎを覚えました。

やがて私は登山に出会い、大学を卒業するとヒマラヤ登山に向かうようになりました。インド、パキスタン、ネパール、中国、ヒマラヤの山々を求めて旅をし、あるときは8000mの頂から丸い地球を眺めました。ヒマラヤの大自然の中に身を置くと、人間がとても小さく弱い存在であり、私たちの命は大きな自然の流れによって左右されているのだと感じました。また、何か特別なことをしなくても、何かを残さなくても、生きていることがただそれだけでかけがえのない、素晴らしいことなのだというのも、ヒマラヤの山々が教えてくれました。

私は次第に山そのものより、山の懐の自然に生きている人々に惹かれるようになりました。一生をかけてその自然の中に生き、厳しさや恵みを受け入れながら、感謝と祈りと共に生きている人々の姿。そこには、繰り返されてきた人間の営みの深さがあり、ラダックのあの老人の姿が重なりました。

多様な自然に生きる人間の暮らしを求めて、私は東西アジアを旅し、いくつかの民族と生活を共にしました。どんな環境でも人間は豊かさを見出して生きられるのだということ、また自然と人間が分け隔てられたものではなく、人間もまた自然の一部にすぎないのだということを彼らが教えてくれました。

そうした様々な土地や人との出会いから、人間の生の強さ、弱さ、喜び、悲しみ、さまざまな側面を伝えることをしたい、そしてたくさんの人の心に生きるうでの何か温かいものを伝えたい。その思いでカメラを手に写真を撮り始めました。

写真の力は、間接的にはあっても人と人をつなげていくことだと思います。結びつけることで誰かが誰かをより近くに感じる、そしてそれが少しずつ世界を変えていく力になるのではないかと、そう信じています。

故郷の秋田から東京に出てきて10年がたちました。決して人に誇れる生き方ではありませんが、ひとつひとつ自分で選びながらここまで歩いてきました。生きているといろいろなことがあります。皆がそれぞれに違った人間に生まれ、様々なことをしながら結びついて生きていくことは、とても素敵なことだと思います。そんな人間の結びつきを写真を通して表現していきたいです。

孤独を感じるとき、私はあの老人を思い出します。「ここに山があり動物がいて人間が生きている、それが私の世界であり幸せそのものです。」人にはそれぞれの世界があり、それぞれの幸せがあります。私にとっての世界であり幸せは、人間の多様な暮らしを表現していくこと。たとえそれが小さな力であり続けても私は一生を通してそれを続け、伝え続けていくつもりです。ラダック地方に生きるあの老人がブラウン管を通して私の人生を変え、生涯にわたって生きることの温かみを伝えてくれたように。

協賛広告

Welfaretrade Shop
マジェカ
東京都杉並区西荻北3-4-2
tel: 03-6671-7106
mail: info@majerca.com
web: http://majerca.com
twitter: @majerca

ムイトボン!
障がい福祉作業所をものづくりの立ち位置から支援している団体です。
http://muitobem.jp



かてかて ショップ 千人町

かてかてショップは、障害のある人たちの自立を支援するお店です。

- 手づくりクッキー ●キッチン雑貨 [かわいいまな板・なべしき・木のフライ返し・ペーパーホルダー]
- 木のおもちゃ [カスタネット・かたかた]
- アクセサリ [ヘアゴム・シュシュ・ビーズネックレス・指輪・とんぼ玉ストラップ]
- 陶器 [お皿・マグカップ]
- 藍染 [てぬぐい・ミニタオル]
- 絵はがき
- カード ●しおり ●アートグッズ 他

気軽に お立ち寄り ください!
◆営業時間 月曜日～金曜日 午前10時～午後3時30分
◆定休日 土曜・日曜・祝日

* 西八王子駅北口より徒歩約7分
〒193-0835 東京都八王子市千人町2-7-5
TEL 042-669-0340 FAX 042-669-0341



かてかてショップ
ピンクの2階建の建物です



絵: 小川知樹

ご自由にお持ちください

Vol.16
2013.7

八王子のひと・モノ・こころをつなぐ情報誌

かてかて

発行日 / 2013年6月28日

発行 / 特定非営利活動法人 八王子ワークセンター
ワークポートかてかて

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-7-5
TEL 042-669-0340 FAX 042-669-0341
E-mail katekate@8work.jp
ホームページ http://8work.jp/

八王子ワークセンターは
障害のある人たちの地域生活を
ワーク(働く)の視点から
支援しています。

【かてかて】

八王子周辺の方言で、まぜごはんを“かてめし”とも言います。そこから「まぜまぜ」の意味でつくった造語です。

障害のある人もない人も、まぜまぜの社会をあらわしています。



おしゃめでセンチな
マリアンポッポ 1,000円 [sora]



踊り大好きマイケルテッド 1,000円 [sora]

ゆるゆるキャラグッズ
かてかての
大佳保へっ!!



ストラップ
各420円 [木馬工房]



いも虫ストラップ
各350円 [八王子福祉園]



パッチンピン 350円 [木馬工房]



ヘアピン 350円 [木馬工房]

ぼっくり人形
200円 [第三高尾青年の家]

思わぬキモチも顔もゆるんでしまうビミョ〜な表情



封筒2枚組(横157mm×縦97mm)
各140円 [うらら八日町工房]

アマジャノくん
大中小 各500円~1,000円
[八王子生活館]



チャーム 420円 [木馬工房]

ボンボン人形 各300円
[第二高尾青年の家]



しおり 各380円
[うらら八日町工房]



ヘアゴム 各400円 [木馬工房]

主な販売店 (取扱い商品はそれぞれ異なります)

道の駅八王子滝山 八王子市滝山町 1-592-2 TEL 042-691-8083

営業時間 9:00~21:00 年中無休

市役所売店はっち 八王子市元本郷町 3-24-1 本庁舎地下1階 TEL 042-626-3111 (代)

営業時間 8:15~17:40 土・日・祝

かてかてショップ千人町 八王子市千人町 2-7-5 TEL 042-669-0340

営業時間 10:00~15:30 土・日・祝

「JR八王子駅コンコースに、月に1回出店します。」

次の出店予定 7月10日(水)、8月7日(水)、11:00~16:30

※都合により変更になる場合もあります。

TEL 042-669-0340 (八王子ワークセンター・ワークポートかてかて)

商品に関するお問い合わせ先 Sora: 八王子市戸吹町 557 tel. 042-689-6236 八王子生活館: 八王子市南町 5-13 八王子ローヤルマンション 1階 tel. 042-624-8417 うらら八日町工房: 八王子市上野町 16-3 tel. 042-627-6780 木馬工房: 八王子市元本郷町 3-17-13 tel. 042-624-3340 八王子福祉園: 八王子市西寺方町 76 tel. 042-651-4543 第三高尾青年の家: 八王子市台町 4-39-8 tel. 042-628-0569 第二高尾青年の家: 八王子市長房町 1396-3 tel. 042-667-5575

はたらく現場

森のぱんやさん

〒192-0531 東京都八王子市千人町 2-3-1 月曜休
TEL 042-673-7827 [JR中央線 西八王子駅 徒歩2分]
営業時間 / 8:00~パンが売り切れ次第終了とさせていただきます
ランチタイム 11:00~14:00



2012年4月にオープンした「森のぱんやさん」は、天然酵母を中心に様々なパンを作っています。ランチは地元の無農薬野菜をふんだんに使用したパスタやサラダがメイン。好きなパンを店内で食べることもできます。メンバーの方の絵や陶芸、カレンダーなども展示・販売しており、造形活動にも力をいれています。シェフの方は「働く人もお客様も、ここで楽しい時間を過ごしてほしい。」と話してくださいました。



おいしいパンを作るため、計量はキッチリ。

作品は定期的に変わります。

心を込めておもてなしします!



パスタランチ 750円。右上から時計回りに、サラダ、パスタ、デザート、ドリンク(コーヒー or 紅茶)、スープ。旬の野菜がたっぷり(日替り)



木のぬくもりをいかした内装。



パンとパスタのワンプレート 600円。サラダ、スープ、ハーフパスタ付き



ティータイムはデザートもあります



パンは15~20種類 季節によって入れ替わります



豊かな手仕事の世界 ユニークな八王子の特産品!

八王子には、たくさんの福祉施設があります。障害のある人たちが、特性を活かして、いいものづくりをしているところがたくさんあります。「道の駅八王子滝山」の中でも実は人気のおみやげ品にもなっています。まだまだPR不足で知っている人も少ないかもしれません。でも、近所にちょっと気になる場所があったら気軽にのぞいてみてください。そこには、福祉施設で作られた「たからもの」が隠れているかもしれません。横浜から来たNPO法人ムイトボンの上田さんがのぞいた八王子のレポートです。

はじめまして!

私たちはNPO法人ムイトボンです。NPO法人ムイトボンは、障がい福祉作業所をもつづくりの立ち位置から支援している団体です。

現在、八王子にある12か所の福祉作業所を対象に「工賃アップのためのものづくり講座」をしています。

この講座が始まる前に、講座に参加される障がい福祉作業所の全てに見学に行き、お話を伺いました。

「八王子市の施設は自然に囲まれてのんびりやっているんだろうな(だから商品も大したものがないんだろうな)」と想像していました。

しかし、行く先々の施設でそのイメージは覆りました。

「商品の完成度が高い!そしてユニーク」であると。

八王子市の作業所は、作った商品を売る機会がたくさんあります。

福祉セレクトショップの「かてかて」や市役所内売店の「はっち」をはじめ、高尾山があり、道の駅があり、西東京の電車のハブである八王子駅があります。

都内でここまで販路に恵まれている地域はあまりありません。

販路に恵まれているのですから、当然作業所の商品は多くのお客様の目にさらされる事になります。

売り上げが上がりなければ、様々な工夫で商品を改善していったのでしょうか。

ゆっくりと作業所の利用者さんと職員さんが一緒になって、お客様の声に応じていった結果、現在の八王子市の商品があるのだと思いました。

それでもムイトボンから見て、商品はまだまだよくなると思っています。

ムイトボンは「ものづくり講座」を出発点に八王子の作業所と一緒に、お客様の笑顔に添える商品を作っていけると考えています。

NPO法人ムイトボン! 代表理事 上田尚矢 (写真も)
〒232-0034 横浜南区唐沢 35-1 TEL/FAX 045-654-8839 E-mail info@muitobem.jp http://muitobem.jp

おいしいパン
+
おいしいランチ
+
温かい笑顔
=
HAPPINESS